

6/25 伝統的行事 地域の児童も参加
～野原八幡宮 御田植祭～

▶八幡小児童は田んぼの感触を楽しみながら田植えをしました



野原八幡宮の境内にある神田で、御田植祭が開催されました。

当日は八幡小3～5年生も地域の伝統文化に触れようと参加。晴天の光をたたえる神田には歌姫8人と八幡小児童による「ハー 今日八幡さんの田植えでござる」との田植え歌が爽やかに響く中、菅笠にかすりの着物を着た早乙女たちと八幡小児童が一列に並んで苗を植え、五穀豊穡を祈願しました。また、当日は市俳句協会による俳句大会も行われました。

6/29 きれいで住みよいまち荒尾を目指して
～環境美化功労者表彰～

▶市では、6月を環境美化の月と定め、道路の清掃などを行っています



長年にわたり、市内の環境美化などにボランティアで取り組んできた団体や個人などを表彰する環境美化功労者表彰式を行いました。ことしは、住吉町会後方支援部、高浜老人会の2団体と永井惟成さん、宮本典昭さんの2人を表彰しました。どなたも、道路や公園などのごみ拾いや草刈りなどを5年以上続け、住みよい環境のまちづくりに尽力されました。式では、受賞者を代表して永井惟成さんが謝辞を述べ、これからの活動にも意欲を見せていました。

寿 100歳 おめでとうございます



吉田泰子さん (万田中)

6月1日に100歳の誕生日を迎えられました。給食センターで働き、3人の子どもを育て上げました。以前は編み物が得意で、家族のためにいろいろと編んでいました。現在は、自分で選んだ花の苗を庭に植えて楽しんでいます。

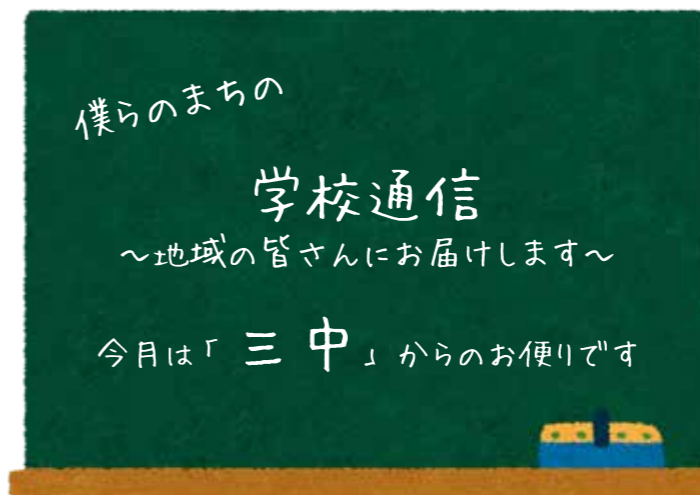
杖や入れ歯は使わず、最近も家族と旅行するなど、とても元気です。元気の秘訣は「何でも食べること」だそうです。

6/29 大人顔負けの俳句が次々と
～九州俳句大会3年連続上位入賞～

▶子どもたちと俳句指導者の荒尾先生(右端)が受賞報告に来ました



九州俳句大会で、各県約300人・734句の中から、荒尾快晴君(府本小)の作品「すいせんの花はビタミンCのいろ」が第二位の九州俳句作家協会賞を受賞しました。通学する途中に見つけた水仙の鮮やかな黄色が、ビタミンC入りのジュースの色に似ていたことを素直に詠んだ作品だそうです。また本大会では、石橋正教君(平井小)、石橋洗季君(平井小)、村野沙里衣さん(緑ヶ丘小)の作品もそれぞれ優良賞、佳作を受賞しました。



◀朝の清掃活動。気持ちよく一日を始めることができます



立ち止まってのあいさつ。毎朝のあいさつ運動とともに、礼を正す心を学んでいます

【時を守る】…授業開始1分前に黙想をして、心を落ち着かせてから授業に臨んでいます。チャイムが鳴らないため、時計を見て行動することを心がけています。

【場を清める】…三中の伝統「無音清掃」を実践しています。6時間目が終わると体操服に着替え、清掃場所へと急いで移動し、それぞれの担当場所で黙想をしてから、15分間粛々と清掃に取り組みます。清掃後は、再度黙想をしてからリーダーの司会で反省を行います。昨年度からは、朝のボランティア活動として、地域清掃にも取り組んでいます。地域の皆さんから声を掛けてもらうこともあり、うれしくなります。

【礼を正す】…「無音清掃」と同様に代々受け継がれているのが「立ち止まってのあいさつ」です。生徒会では、職員室前に「立ち止まってあいさつエリア」を設け、立ち止まって行うあいさつを徹底しようと努めています。また、正門では毎朝、生徒会が中心となってあいさつ運動を行っています。今年度からは、部活動による参加も見られるようになり、元気のいいあいさつの声が響き渡っています。

■おもな内容 main contents

学校通信	2
まちの話題	3
子育てのひろば	5
子ども未来基金	8
保健・健康	9
平成30年度市職員採用試験など	12
世界から見た男女共同参画の現状	14
空家バンク最新NEWS	15
市民病院からのお知らせ	16
あらおのいきいき企業	17
くらしの情報	18
試験・募集・イベント	24
図書館情報	28
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	29
「新・BS日本のうた」観覧者募集	30
文化センター情報	31
相談の窓口など	32
医療・あらおカレンダー	34

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
☎福祉課福祉係 ☎63-1406
荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★
8月は「節水の月」

UD FONT by MORISAWA
広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。